

リコーダー講座 開講15周年記念コンサート

那須町文化センター



Memorial Photo Album

とき
ばしよ

令和6年6月15日(土)
那須町文化センター

小ホール 13:00~

賛助出演

那須シニアカレッジ 抒情歌講座

《15年の歩み》

那須シニアカレッジは、2006年10月に設立・開講になりました。

当時、シニアカレッジは、すでに14講座、受講生130名という規模でしたが、音楽に関する講座は有りませんでした。

私は愛好者の一人として、リコーダーは、誰にも簡単に音が出せ、シニア世代が生涯音楽を楽しむには、最適な楽器だ、との思いから講座開講の運びとなりました。

中略



初年度は5名の応募があり、5年後には9名、10年後には13名と僅かずつですが、受講生は増加しました。

その後、コロナ禍により退会者もありましたが、現在は13名が在籍、経験度合いも様々な仲間が合奏を楽しんでいます。

中略

この15年の歩みの中で大きな出来事が二つあります。

一つは2019年7月に10周年記念コンサートを開催できたこと。会場も同じこの小ホールで、図らずも100名を超えるお客様にご来場いただきました。

そのときの感激は、今もって忘れることが出来ません。

もう一つの出来事は何といても世界中を襲った新型コロナ、当然ながら講座は長らく中断を余儀なくされました。

事態が徐々に収まり講座会場が使用可能になった時も、当講座は性質上マスクを外す必要から中止を強いられ、その間、自習用教材を提供し、自宅で練習してもらおうようにしました。

それだけに再会できた時の喜びは忘れられません。中断時、在籍の受講生全員が戻ってきてくれ再スタートを切ることが出来ました。

本日のコンサートは、そんな経過を乗り越えてのもので言い尽くし難いものがあります。

メンバーは、この日のために昨年からの練習を重ねてきました。10周年の時と比べ、技量も内容も格段に進歩しています。

どうぞこれまで励んできた成果をお聴き下さい。
＜抜粋＞

講師 友利 実則



「開催のお知らせ」のポスター

Early Summer
那須シニアカレッジリコーダー講座
15周年記念コンサート

2024 **6/15**(土)
13:00 開場 13:30 開演

那須町文化センター
小ホール
入場料:無料

講座が開講して15周年を迎えるのを記念コンサートを開催します。
シニアから音楽を始めたメンバーがほとんどです。
おなじみの日本、外国の曲を合奏します。

リコーダーの音色、そして抒情歌の歌声をお楽しみください。

多くの方のご来場をお待ちしております。

Program
カヴァレリア・ルスティカーナ
グリーンスリーブス
少年時代 翼をください ほか

問い合わせ
リコーダー講座 森本 0287-64-3431

賛助出演
那須シニアカレッジ
抒情歌講座の皆さん

那須シニアカレッジ リコーダー講座
Recorder Concert
開講10周年記念コンサート
文化センター 小ホール
2019 **7/6**(土)
開場 13:00
開演 13:30
入場無料

演奏曲
グリーンスリーブス
モルタウ
君をのせて
唱歌メドレー
(ふるさとの四季)ほか

開講10周年コンサートのお知らせがカレッジの会報に掲載されていました。
早いものですね。

2019年7月といえば“コロナ禍”の半年前でした。





ステージセット完了です。



リハーサルに余念がありません。
開演 30 分前です。 13:00



受付が始まりました。
12:40 開場まで 20 分です。



受付を手伝って下さった方々





客席も随分と埋まりました。
ありがとうございます 感謝です！



どなたかの家族の方でしょうか？
キッズも来てくれました。



第1部

オープニングは、ドボルザーク「新世界より」です。

新世界よりの由来は？
「新世界より」という副題は、「新世界」のアメリカから故郷ボヘミアへむけてのメッセージ、といった意味です。



第2楽章は「家路」とも呼ばれ、夕方に帰宅を促す曲としても有名ですので、どこかで耳にした人も多いと思います。



夕暮れ的那須連山を望む
那須町大谷地区

第1部演奏の様子



1. “新世界より” ラルゴ
2. カヴァレリア
・ルスティカーナ間奏曲
3. ホルン協奏曲第3番 第2楽章
4. オンブラ・マイ・フ
5. 管弦楽組曲第3番 ガヴォット

全5曲を演奏しました。



挨拶する友利講師

14:10



抒情歌講座 皆さんのコーラス



抒情歌講座
井岡 純子講師



ピアノ 蓮沼 直子さん

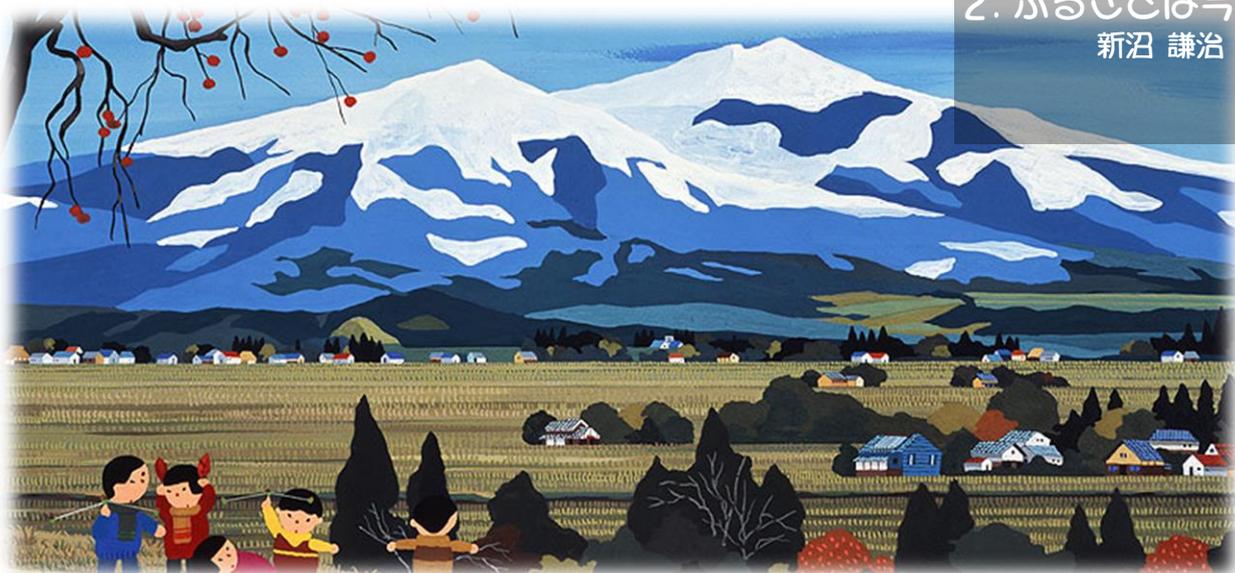


1. ふるさとの四季

春の小川
朧月夜
夏は来ぬ
村祭り
故郷

2. ふるさは今も変わらず

新沼 謙治

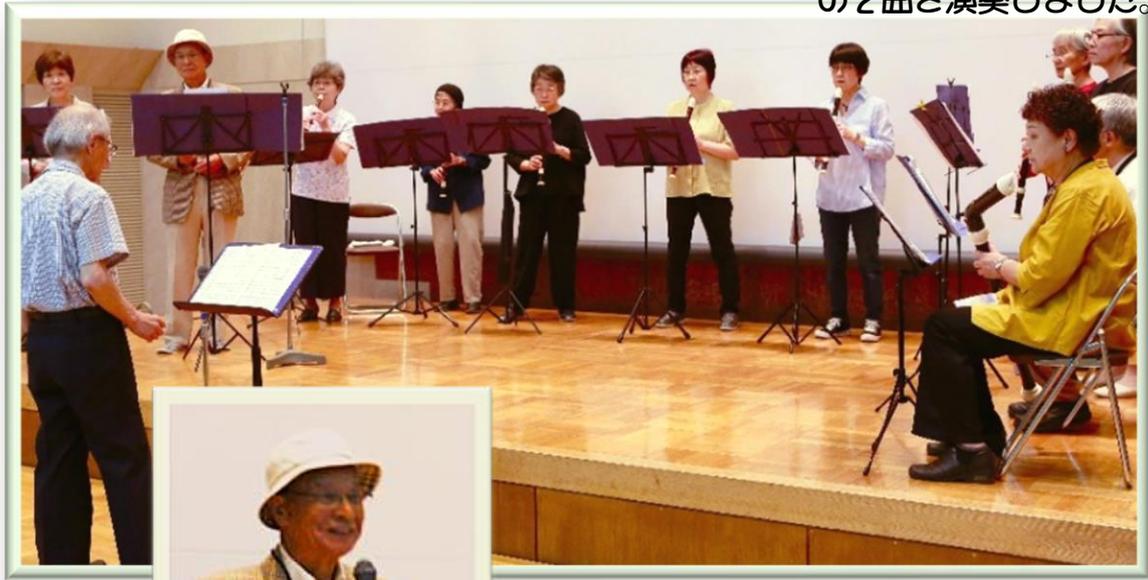


14:14

第2部

前半は

1. 男はつらいよ
2. 「ひるのいこい」のテーマ
の2曲を演奏しました。



朗々と口上を語る高橋さん。

私ども、生まれも育ちも全国津々浦々、全く様々です。那須の魅力に取り憑かれ、ここを老後のすみか定め、縁あって共に笛吹く仲間たちでございます。人呼んで那須の笛吹き“ジーバース”と発します。

我らが師匠、友利先生の、厳しくも優しい指導の下で、楽しく学び、気がつけば早15年。本日目出度くも、この集いを迎えることと、相成りました。ご来場のお兄（おあにい）さん、お姐さん方、これからの後半を、最後まで、ごゆるりと、お楽しみ下さいますよう、お願い申し上げます。

NHK「ひるのいこい」のテーマ



NHKラジオ正午のニュースに続いて聞こえてくる郷愁を帯びた古関裕而のメロディー。

1952年（昭和27年）に放送を開始した『ひるのいこい』のテーマ曲です。



リコーダーの種類

大きささまざまなリコーダー

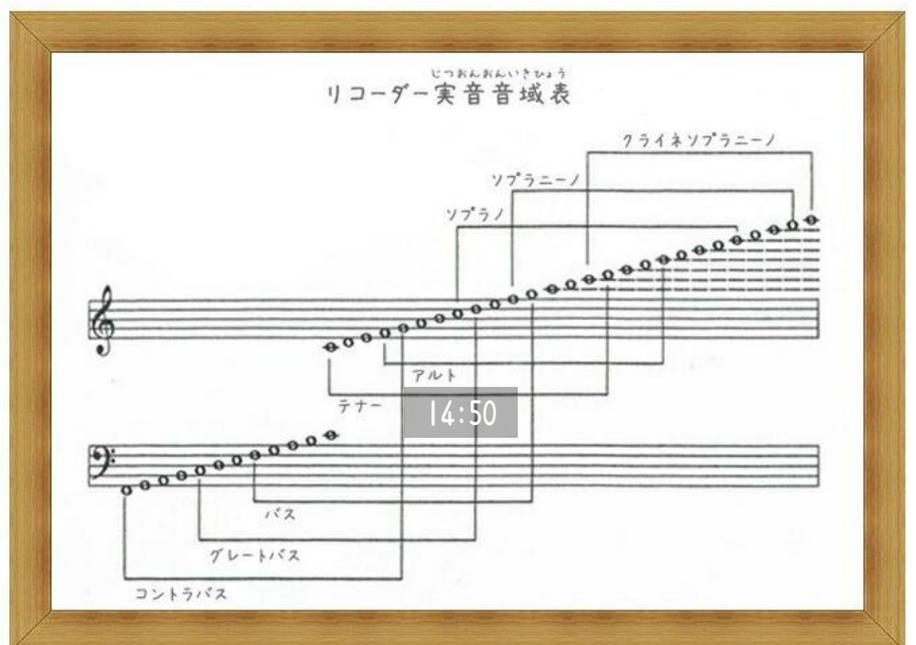
シャープペンシルくらいの大きさのソプラニーノから、バスリコーダーの倍の長さのコントラバスリコーダーまで、リコーダーにはさまざまな種類があります。

中でも最も独奏曲の多いのはアルトリコーダーで、バロック時代のソロソナタや協奏曲、現代のソナタなどの大部分は、アルトリコーダーのために書かれています。

また、アンサンブルではソプラノ、アルト、テナー、バスの4種類を用いた四重奏が一般的です。



リコーダーの種類について解説しています。



「グリーンスリーブス」

なじみ深いイギリス民謡。哀愁に満ちた
旋律が響きわたります。

後半は

3. グリーンスリーブス

4. 少年時代

5. 翼をください

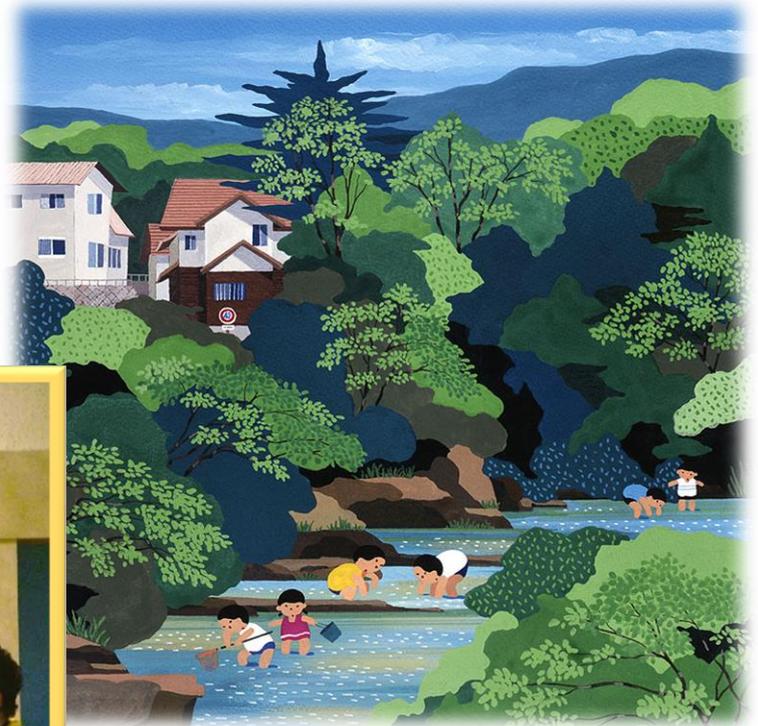
の3曲を演奏しました



この曲は、16世紀半ばまで口頭伝承で受け
継がれ、17世紀にはイングランドの誰もが
知っている曲となりました。

「少年時代」は、日本のシンガーソングライターであ
る井上陽水の楽曲です。1990年9月12日にリリ
ースされました。

井上陽水最大のヒット曲で、1994年以降中学校・高
等学校の音楽教科書に何度も掲載されています。



翼をください



フォークグループの「赤い鳥」が、1971年2月5日にシングル「竹田の子守歌」のB面として発表しました。
1970年代後半より学校教育の場でもよく採り上げられるようになりました。
日本国内では老若男女、誰もが歌える愛唱歌になってきました。



EDELWEISS



「翼をください」で終演となりましたが、たくさんの拍手や掛け声により再度ステージに戻りました。

アンコール曲は「エーデルワイス」です。
15:30





前回、10周年記念に引き続き、今回も
出演してくれました。

抒情歌講座の皆さん





Others



リコーダーだけでなく、会場準備や広報など、自分たちで作る発表会に驚き、心動かされる一年でした。これからも和音を楽しみたい、上手になりたいです。

三宅 裕子

演奏する曲を何度も聞き、それをどう表現するかを考えて吹かないといけないと反省しています。
(歌うようにとか、楽しくとか、力強くとか、静かにとか…)

森本 昭子

もっときれいに合奏できたと思っていましたが、それほどの出来ではなかった。合わせる、表現することに、意識が足りなかった。
素晴らしい機会を持って、皆様に感謝です。

森本 浩太郎



登山でいうなら、登山口は期待でやる気満々。中腹での先が見えず、一人下山かと迷いの日々。山頂には当日、やっと辿り着けたという気持ち。
この道程があったからこの先も続けられそう。

鎌田 千恵美

四重奏アンサンブルの音の重なりは、一人で練習しているときにはない素敵な響きがあります。コンサートでは、拙い私達の演奏を沢山の方々が聴きに来てくださり、感想を寄せて下さいました。それを糧にこれからもアンサンブルを楽しみながら上達して行きたいです。

山田 はるみ

受講生の声 2

掲載順不同

リコーダーは楽しい
アンサンブルは素晴らしい
みなさん貴重な体験
ありがとうございました。

山口 利夏

練習を重ね、齢も重ねてのコンサートは、ドキドキ、
ワクワクでした。多数の方に演奏を聴いていただいた
ことは、反省点多々あるものの満足感とこの先の練
習の励みとなっております。

木村 佳代子

前半5曲は、どれも素敵なクラシックの四重奏。
アンサンブルの難しさを感じ、緊張しましたが、後
半5曲は、リラックスして合奏を楽しめました。

近藤 美貴子

「男はつらいよ」とか「昼のいこい」などは私の感性にぴったり
で大好きです。

これらを選定し、リコーダー用に編曲された友利先生の柔軟な
発想に脱帽、感謝です。渥美清氏の葬儀に参列する程の大ファン
でした。寅さんの格好で口上を述べたのも良い思い出です。

高橋 幹男



コンサートではとても気分よく演奏ができ、うれし
かったです。

これからも好きな音楽に、勤しみたいと思います。

須藤 さよ子

初めてのコンサートで、長い緊張の時間でした。
日々の練習は、困難の連続でしたが、回数をこなせば上手に
なると信じ、頑張って練習をしました。

きっと糧になって残ってくれることでしょう。

高橋 亮子

歌う事が苦手な私は、リコーダーと一緒に
楽しむ事ができました。

そして皆さんと一緒にのハーモニー、機会
を与えて下さった事に深く感謝します。

村田 禮子

たくさんの方に聴いていただける機会を貰いました。
当日の楽屋の様子が昨日の事のように思い出されま
す。楽しかった。

今まで以上にリコーダーを好きにさせてくれた15周
年コンサートでした。

白井 孝代

撮 影 片上 清重
山田 正博
編 集 片上 清重
制 作 令和6年11月
那須シニアカレッジ広報